

流域のあらゆる関係者が 連携、協力して豪雨災害に備えます

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

『第8回大和川下流部大規模氾濫に関する 減災対策協議会』開催～

大和川河川事務所と大和川沿川の市(大和川下流域)等は、連携、協力して大規模氾濫に備え、逃げ遅れゼロ社会を目指して、取組を進めています。

今回の協議会では、下流域8市のうち柏原市長、藤井寺市長に出席いただき、マイ・タイムライン、要配慮者利用施設の避難確保計画作成、訓練の促進や、河川情報提供の充実といった重点実施項目の確認、令和7年を目標とした、減災に係る取組方針(案)についての意見交換や各機関の具体的な取組状況についての情報交換を行いました。

概要

- 日時: 令和3年7月29日(木) 14:00～15:00
- 開催場所: 柏原市立市民プラザ6階 大会議室
- 構成員: 21名(代理含む)
- マスコミ: 1社

主な議事

- 議題事項
 - ・ 令和3年度の重点実施項目
 - ・ 大和川下流部大規模氾濫域の減災に係る取組方針(案)の目標更新
- 報告事項
 - ・ 流域治水プロジェクトについて
 - ・ 令和2年度 機関ごとの具体的な取組

協議会の構成メンバー

構 成 員	構 成 員
大阪市長	大阪府 都市整備部 河川室長
堺市長	大阪府危機管理室 危機管理室長
八尾市長	気象庁 大阪管区気象台長
松原市長	近畿地方整備局 大和川河川事務所長
柏原市長	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部長
羽曳野市長	近畿日本鉄道株式会社 大阪統括部 施設部長
藤井寺市長	大阪市高速電気軌道株式会社 執行役員
東大阪市	南海電気鉄道株式会社 鉄道営業本部 施設部長
大和川右岸水防事務組合事務局長	阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 工務部 副部長
大阪府都市整備部事業管理室長	阪堺電気軌道株式会社 常務取締役

【オブザーバー】国土地理院 近畿地方測量部

会議の様子



大和川河川事務所長の挨拶



藤井寺市長

柏原市長




委員の方の主な発言

- ・ 要配慮者避難は、本当に難しい問題と考えており、支援する側とされる側のお互いの理解と協力が必要となるので、今後もこのような取組の支援をお願いしたい。
- ・ 今年から避難勧告が廃止され、避難指示に統一されたが、首長の立場からしたら難しい判断が迫られるという思いであり、こういった中で、情報共有をして、避難判断の支援をしていただけることは本当に心強く思う。
- ・ 各地で大規模な水害が相次いで起こっていることを受けて藤井寺市では19地区で2箇所ずつ計38箇所のまるごとまちごとハザードマップ表示板を設置した。浸水の可能性があるということを市民の皆さんに伝え、水防災への意識を高めていただくと共に、少しでも早い避難行動をとっていただくことに繋げたい。
- ・ 防災関係機関の皆さん、自治体の皆さんとしっかり情報共有しながら、必要に応じて気象の解説等も丁寧に実施していく。

減災のための取組報告




まるごとまちごとハザードマップ表示板の設置(藤井寺市)



4.3m

浸水高さ表示板



4.3m

想定浸水深
Estimated Water Depth (Assumed)
この標高は大雨時に河川が氾濫する±4.3m浸水する可能性があります。

説明内容表示板



感染症対策をした避難所運営演習(柏原市)



【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課

〒582-0009 大阪府柏原市大正2-10-8 TEL 072-971-1381